

【学部創立 10 周年記念号に際して】

創立 10 周年を振り返り、敬愛する恩師の志を継ぐ

Reflecting on our 10th anniversary, we carry on the vision
of our respected teacher

国際総合科学部長 上田 真寿美

UEDA Masumi, Dean of the Faculty of Global and Science Studies

山口大学国際総合科学部研究紀要 第 2 巻の発刊を、教職員一同、心より喜びに堪えません。特に本号は、本学部創立から 10 年の節目を迎える記念すべき一冊であると同時に、長きにわたり学部の創立と運営に多大な尽力を賜り、昨年永眠されました故・川崎 勝 教授への深い感謝と哀悼の意を込めた特別号としてお届けいたします。

10 年という歳月を経て、本学部は、文理の枠を越えた幅広い知識を持ち、高いコミュニケーション能力とデザイン思考による課題解決能力を持つ人材を育成するという理念のもと、確固たる教育・研究の拠点として成長を遂げることができました。草創期のご苦勞を乗り越えて今日を迎えられたことに、関係各位の献身的なご尽力と、皆様の温かいご支援に改めて深く感謝申し上げます。

この輝かしい歩みの礎を築かれたのが、第三代学部長として学部の基盤作りに心血を注がれた故・川崎 勝 教授でした。先生の多大なご功績と業績の詳細は、本号の追悼の章に譲りますが、先生が学部にもたらされた学問への尽きせぬ情熱と、教育者としての温かい眼差しは、今も教職員と学生の精神的支柱として生きています。

本研究紀要第 2 巻に集約された論文は、まさに先生の遺された精神が、次の世代へと確実に受け継がれている証左です。教員の研究は専門分野における最新の知見と鋭い考察に満ちています。本紀要が、研究成果の記録としてのみならず、今後の学部の教育と研究をさらに発展させていくための一つの契機となることを心から期待いたします。

我々は、偉大な先達の逝去という悲しみを乗り越え、先生が築き上げたこの学び舎を、さらに未来へ発展させていく決意を新たにしております。次なる 10 年を見据え、社会に貢献できる知の創造と、人材育成に邁進していく所存です。

結びに、熱意ある論文をご寄稿いただいた全ての執筆者の皆様、そして本巻の編集作業に多大な時間と労力を注いでくださった研究推進委員会の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。